

令和8年6月30日

東松山市議会議長
藤 倉 憲 様

広報広聴委員会
委員長 蓮見 節

意見交換の場 報告書

広報広聴委員会で開催しました意見交換の場について、下記のとおり報告します。

記

1 相手方

(1) 東京農業大学第三高等学校の生徒

(2) 県立松山高等学校・県立松山女子高等学校の生徒

2 詳 細 別紙のとおり

3 全体総括

(1) 東京農業大学第三高等学校の生徒との意見交換の場について

概 要

日 時：令和8年1月24日（土）午後1時30分から

場 所：東京農業大学第三高等学校 4号棟3階 選択Ⅲ教室

参加者：農大三高の生徒8名、市議会議員6名

（蓮見節、佐藤恵一、井上聖子、斎藤雅男、田中二美江、堀内真理子）

目 的：市内在学の学生から多様な意見を聞き、議員活動に役立てるため。

当日の流れ

1. あいさつ（蓮見委員長）【2～3分】
2. 自己紹介（グループ毎）【10分】
（名前、学年、出身地、特技、興味のあることなど）
3. テーマについての意見交換【60分（20分×3テーマ）】
 - （1）議会や議員活動についてどんなイメージを持っていますか。
 - （2）若者が気軽に集える施設や場所とは。
 - （3）市議会に期待する若者政策について（こんなことがあったら・できたら、うれしい！）
4. 発表（グループ毎・発表は書記の議員が行う）【10分】
5. 全体での意見交換【10分】
6. あいさつ（高校生）【2～3分】
7. お礼・あいさつ（佐藤副委員長）【2～3分】

グループ分けについて

Aグループ	氏名	学年	性別	役割
	生徒会長	1年	男	
	書記長	1年	女	
	生徒会役員	2年	男	
	生徒会役員	2年	男	
	蓮見節		男	
	斎藤雅男		男	
	堀内真理子		女	書記

Bグループ	氏名	学年	性別	役割
	副会長	1年	男	
	副会長	1年	女	
	会計長	1年	男	
	前書記長	2年	女	
	佐藤恵一		男	
	井上聖子		女	
	田中二美江		女	書記

① Aグループの意見・要望・総括

1. 意見（現状認識・疑問等）

内容	考察	議会における提言可能事項
議員は普段どのような活動をしているのか。	議員活動の日常が十分に若年層に伝わっていないことの表れである。	議員活動や委員会活動を分かりやすく紹介する広報の充実。若者向け特集の検討。
当選後の情熱はどのように使われているのか。	政策実現までの過程が見えにくい。	政策提案から実現までの事例紹介の掲載。
議会は年に何回あるのか。	議会制度を知る機会の不足が示唆される。	模擬議会や高校生向け説明機会の創出。
議員報酬はいくらか。	透明性への関心の表れである。	報酬・政務活動費の仕組みの分かりやすい公開。
駅前という場所が重要である。	若者にとって駅前は象徴的かつ実用的な空間である。	駅前空間活用に若者視点を反映する検討。
駅構内のカフェは価格が高い。	若者の経済状況を踏まえた居場所ニーズである。	公共施設内の滞在空間の在り方検討。

2. 要望（具体的提案・改善希望）

内容	考察	議会における提言可能事項
駅完結型施設が欲しい。	滞在型・居場所型機能を駅前に求めている。	空き店舗活用支援策や民間連携施策の検討。
ゲームセンター、スポーツ施設（プールなど）が欲しい。	娯楽・運動機能の充実を求めている。	小規模スポーツ施設や娯楽施設の検討。
駅前スポーツ施設が欲しい。	他自治体事例を踏まえた具体的提案である。	先進事例の調査および可能性の研究。
スターバックスの誘致。	ブランド力によるまちの魅力向上を期待している。	にぎわい創出施策の方向性整理。
公共施設でイベント（コスプレ等）を開催しては。	若者文化の受容と発信機会を求めている。	若者提案型イベント制度の創設検討。
授業料の無償化。	教育費負担軽減への強い関心である。	国への意見書提出や市独自支援策の確認。
図書館利用時間の延長。	試験期学習環境の具体的ニーズ。	試験期間限定延長の試行提案。
飲み物持参可の自習スペースが欲しい。（図書館や公共施設）	居場所機能と学習機能の両立を求めている。	ゾーニング導入の検討。

内容	考察	議会における提言可能事項
商業施設内に図書館設置。	利便性と集客機能の融合を求めている。	将来の複合施設整備時の参考意見として共有。
自販機の増設。	利便性向上の要望。ただしごみ問題への配慮必要。	設置基準整理の検討。
駅前飲食マップの設置。	情報発信強化への提案であり観光振興とも連動可能。	高校生協働型マップ作成事業の検討。
わが校の応援団を市のイベントで活用してほしい。	若者が行政や地域行事に主体的に参加・貢献したいという前向きな意識の表れである。	市担当部署、商工会、関係団体及びOB会との調整を働きかける。若者参画の仕組みを制度化する検討。 (※この場で実現可能であることを伝えた。)

3. グループの総括

本意見交換においては、議会活動の可視化への関心、駅前を中心とした居場所機能への要望、学習環境の具体的改善提案、そして若者自らが地域行事へ参画したいとの意欲が示された。若者は単なる受益者ではなく、まちづくりの担い手となり得る存在である。広報広聴委員会としては、議会活動の見える化の強化、若者の継続的な意見反映の仕組みづくり、若者参画の具体化に向けた関係機関との連携について、今後協議を深めることが望ましいと考える。

②Bグループの意見・要望・総括

1. 意見（現状認識・疑問等）

内容	考察	議会における提言可能事項
昨年、第六次総合計画の策定にあたり市職員と意見交換をしたので、議会について多少の興味はあるが、あまり身近に感じない。 要望や意見を集約し形にしていくという点では生徒会の活動と議員活動は似ていると思う。	議会活動の内容が情報として届いていないことが大きな一因と考えられる。	今後、情報公開を積極的に行っていく努力が必要である。また議会の開催がほぼ平日の昼間であることから、若者や学生にとっては傍聴しにくい環境にあることも課題である。
東松山ぼたん園で開催された「こびとづかん」が面白かった。あのようなイベントをもっと行えるよう、イベント会場を増やすと良いと思う。	若者向けイベントへの参加機会を求めている。	若者向けイベントの開催や開催場所の検討。
目的の場所にストレスなくスムーズに行けるような交通手段、たとえばレンタサイクルなどを導入してはいいかがか。	学生は車を持たないため、代替となる移動手段を求めている。	若年層を対象とした地域公共交通施策の検討。

2. 要望（具体的提案・改善希望）

内容	考察	議会における提言可能事項
駅周辺にマクドナルドやサイゼリアのような飲食店があると良い。 映画館が欲しい。 駅中に学習や待ち時間のためのフリースペースが欲しい。 駅近にゲームセンターがほしい。	学生は車を持たないため、駅周辺での施設の充実を求めている。それに対して、東松山駅周辺にはそのような施設もなく、今後の予定もない。	駅周辺施設の整備や駅周辺で若者が滞在できる空間の創出。
スリーデーマーチに高校も行事として参加したい。	地域行事への興味・関心の現れ。	地域行事への若者参加を促進する取組の検討。

内容	考察	議会における提言可能事項
お祭りがもっと増えたら嬉しい。(学校帰りに寄っていた夢灯路がなくなって残念)	地域行事への興味・関心の現れ。	地域行事への若者参加を促進する取組の検討。
地域電子マネー	D X技術を利用した利便性の向上や地域限定のお得感を求めている。	利便性の向上や地域限定となる取組の検討。
アニメとコラボした政策 映えスポットが欲しい。	若者文化・流行に合わせた取組を求めている。	文化・流行に合わせた、観光施策、広報活動の検討。
交通の便が良くなってほしい。	現状では交通の便が良くないと感じている。	若年層を対象とした地域公共交通施策の検討。
プロ野球の地方開催ができる球場が欲しい。	スポーツを通じた地域活性化を求めている。	地域のにぎわい創出の取組を検討。
屋台やキッチンカー、フリーマーケットなどのある歩行者天国をやってほしい。	地域活性化の取組を求めている。	

3. グループの総括

この度の意見交換を通じて、若い世代ならではの斬新な提案を多くいただいた。市政につながる視点も多く大変有意義な時間となった。農大三高の協力を得てこの意見交換の場を設けたことは、東松山市議会として若者の意見を聞く姿勢を示した第一歩である。未来を生きる若者にとって、政治や議会を身近に感じられる機会が少ない中、地方自治について考えたり、興味を持つきっかけになれば大きな意味を持つ。

意見交換の場の様子



(2) 県立松山高等学校・県立松山女子高等学校の生徒 との意見交換の場について

概 要

日 時：令和8年5月9日（土）午後2時00分から

場 所：東松山市役所3階 議場・全員協議会室

参加者：松山高校の生徒9名、松山女子高校の生徒6名、市議会議員9名

（蓮見節、佐藤恵一、井上聖子、斎藤雅男、田中二美江、堀内真理子、安藤和俊、
高田正人、平澤牧子）

当日の流れ

第1部【議場】 参加者は指定された議席に着席

1. あいさつ（藤倉議長）【2～3分】
2. 自己紹介（議場マイクを使って演壇で行います）【30分】
（学校名、学年、名前、出身地、特技、興味のあることなど）
3. 議場見学【15分】※記念撮影含む

移動・休憩【10分】

第2部【全員協議会室】 参加者はグループ毎に着席

1. あいさつ（蓮見委員長）【2～3分】
2. テーマについての意見交換【60分（20分×3テーマ）】
 - （1）議会や議員活動についてどんなイメージを持っていますか。
 - （2）若者が気軽に集える施設や場所とは。
 - （3）市議会に期待する若者政策について（こんなことがあったら・できたら、うれしい！）
3. 発表（グループ毎・発表は書記の議員が行う）【10分】
4. 全体での意見交換【10分】
5. あいさつ（高校生）【2～3分】
6. お礼・あいさつ（井上議員）【2～3分】

グループ分けについて

1グループ	氏名	学年	出身校	出身地	役割
	1 生徒	3 年	松高	市外	
	2 生徒	2 年	松高	市外	
	3 生徒	2 年	松高	市外	
	4 生徒	3 年	松女	市外	
	5 生徒	2 年	松女	市外	
	6 田中 二美江	市議会議員			書記
	7 蓮見 節				受付
	8 安藤 和俊				進行

2グループ	氏名	学年	出身校	出身地	役割
	1 生徒	3 年	松高	市内	
	2 生徒	2 年	松高	市内	
	3 生徒	2 年	松高	市内	
	4 生徒	3 年	松女	市外	
	5 生徒	2 年	松女	市外	
	6 堀内 真理子	市議会議員			進行
	7 佐藤 恵一				書記
	8 高田 正人				受付

3グループ	氏名	学年	出身校	出身地	役割
	1 生徒	3 年	松高	市外	
	2 生徒	3 年	松高	市外	
	3 生徒	2 年	松高	市内	
	4 生徒	3 年	松女	市外	
	5 生徒	2 年	松女	市外	
	6 井上 聖子	市議会議員			進行
	7 斎藤 雅男				書記
	8 平澤 牧子				受付

① 1 グループの意見・要望・総括

1. 意見（現状認識・疑問等）

テーマ1 議会や議員活動についてどんなイメージをもっているか

内容	考察	議会における提言可能事項
まじめで堅苦しいイメージがある。	議場の雰囲気や答弁スタイルから、堅いイメージを持たれやすいようである。また、テレビなどで見る機会の多い国会と異なり、市議会は普段の生活との結び付きが見えにくいいため、全体的に議員が何をしているのか分かりにくいイメージを抱く高校生は少なくないようである。一方で、SNSの発信等により前向きな印象も増えてきているようである。	市議会との距離を縮めるには、高校生の日常生活とのつながりを示すことで関心度を高める必要があると考える。市議会では、通学路の安全対策、公共交通、教育政策など、高校生の生活に直結する内容が議論されており、市議会＝遠い存在、無関係ではないというメッセージを折に触れ発信していく努力が必要と考える。
実態が不透明（何をしているのか分かりにくい）		
議場で寝ている。		
式典の来賓として来ている人。		
市民と国の架け橋をしてくれているイメージ。		
市民のために活動してくれている。		
新聞やSNSなどを通して、様々な活動をしているイメージがある。		

テーマ2 若者が気楽に集える施設や場所は

内容	考察	議会における提言可能事項
図書館、学習スペース、ショッピングセンター、フードコート、ファストフード店、ファミレス、カラオケ、公園など。	高校生は車という移動手段を持たないため、すべてを駅の近くに求めている。部活帰りに集まりやすい飲食スペースや、ちょっと腰かけて友人と過ごせる公園などの場所、また四季を通して快適に学習できるスペースを望んでいるようである。	駅前空間活用に若者視点を反映する検討。

2. 要望（具体的提案・改善希望）

テーマ2 若者が気楽に集える施設や場所は

内容	考察	議会における提言可能事項
東松山市立図書館の学習室を市外の学生も利用できるようにしてほしい。	市民に限定せず、居場所機能と学習機能の両立を求めている。	図書館の利用条件の改善を求めている。
図書館に飲食スペースを設けてほしい。（一日中学習するときは昼食を図書館内でとりたいので）		
公園に屋根のあるベンチを設けてほしい。（散歩がてらに寄る公園がただベンチを置いてあるだけでは暑すぎる）	温暖化対策と居場所機能の強化を求めている。	公園の温暖化対策を求めている。

テーマ3 市議会に期待する若者政策について

内容	考察	議会における提言可能事項
野球（壁あて）やサッカー、スケートボードなど、自由に練習のできる公園が欲しい。	スポーツ施設の充実と簡単に利用できる手続きの整備を求めている。	スポーツ施設の整備に若者視点を反映する検討。
バドミントンなど、予約なしでも気楽に利用できる体育館がほしい。		
スケート場がほしい。		
駅の近くにファミレスがほしい。（東松山市にあるファミレスは、国道沿いなので、行けない）	若者にとって駅前には象徴的かつ実用的な空間である。	駅前空間活用に若者視点を反映する検討。
ラウンドワンがほしい。	娯楽・運動機能の充実を求めている。	小規模スポーツ施設や娯楽施設の検討。

3. グループの総括

高校生との意見交換は、単に若者の声を聞くということに留まらず、東松山市の未来のまちづくりに繋がり大きな意味を持つ。今回の意見交換も大人が見落としている課題

(1 グループ)

を多く見つけることができたと思う。また、高校生の皆さんも、意見交換を通じて、自身も地域を変えていくことができる主権者との認識を高くもっていただけたら嬉しい。議会は見えにくい存在になりやすいが、若い世代との対話を、これからも続けていくべきではないかと思う。

② 2 グループの意見・要望・総括

1. 意見（現状認識・疑問等）

内容	考察	議会における提言可能事項
市議会議員活動のイメージが湧かない。	市議会や市議会議員に触れる機会や役割を知る機会が少ないと考えられる。	議会の役割や議員活動を知ってもらうための取組の検討、主権者教育の推進。
議会の傍聴に来る人はどれくらいいるのか。	本会議がどのような状況で開催されているのかを知る機会が少ないと考えられる。	本会議傍聴の機会をつくる等。
市議会だよりに関心のあるテーマが載っていて、身近に感じられた。	まずは市議会だよりに関心をもってもらえるかどうか重要。	議会の役割や議員活動を知ってもらうための取組の検討と合わせて、議会だよりの周知や議会だよりの読みやすさも検討。
18 歳になったら選挙に行ってみたい。（投票する基準は、はっきり分らない）	投票には行きたいが、選挙を経験したことがない。	主権者教育の推進、模擬選挙等の実施。
市議会議員選挙に立候補できる条件は。	市議会議員について知る機会が少ない。関心が薄い。	関心を持ってもらう機会をつくる。
市議会議員以外の仕事との両立はどうしているのか。	市議会議員について知る機会が少ない。	市議会議員について、知る機会をつくる。
吹奏楽など練習の成果を発表できるイベントや有名アーティストが来るイベントがあれば賑わいができると思う。	若者にとって魅力的なイベントを求めている。	学生が出演可能なイベントの案内、若者向けイベント開催の検討。
遊びに行くのは、川越や都内が多い。（おいしいものが食べられる）	若者が行きたくなるようなお店がない。	若い世代にとって魅力ある店舗の誘致、若者のニーズ調査。
幼稚園児位の年齢を対象とした子育てサロン（折り紙教室など）があると子育て支援につながる。	将来のことを考えての意見。	子育て支援策の強化。

2. 要望（具体的提案・改善希望）

内容	考察	議会における提言可能事項
運動できる場所が欲しい。	気軽に自由に運動する場所を求めている。	学生のニーズ調査、運動場の現状調査、今後に向けての検討。

(2 グループ)

内容	考察	議会における提言可能事項
自由に集中して勉強できる場所が欲しい。	学校以外で気軽かつ、静かに利用できる学習環境を求めている。	学生が利用しやすい環境の整備。運用状況の確認、課題の調査。代替策の検討。
図書館の読書室の予約が埋まってしまい利用できないことがあるので、改善して欲しい。		
下校途中に食べ歩きができるようなお店が欲しい。 (コンビニ等)	下校時間になると空腹になるが、通学路にお店がない。駅周辺は居酒屋多い。	駅周辺施設の整備。
学校と駅の間に娯楽施設があると良い。(ゲームセンター等)	駅周辺に若者が立ち寄りたくなるお店がない。	駅周辺施設の整備。若者が利用したくなる場所の創出。
(松女生より) 東松山駅東口に行く機会がない。		
参考書の貸し出しサービスがあると良い。	経済的負担軽減と効率を考えた高校生視点の発想。	貸し出しサービスの検討。
子育て支援策の助成・給付額を増額して欲しい。	少子化対策への関心。	子育て支援策の強化検討。
都市計画道路の計画から整備までの期間を短くして欲しい。	街の活性化や利便性向上への関心。	都市計画道路の整備までの流れの周知。
こども医療費自己負担分の償還が遅かった。(6ヵ月位要した)ので、改善して欲しい	実体験からの要望。	実態調査と課題の抽出、対策。
女性用公衆トイレは混雑することが多い。混雑・空き状況が分かるようにして欲しい。		トイレマップサービス等の検討。
東松山駅改札内の女性用トイレ2つは和式なので、洋式に変えて欲しい。	不便さ解消の訴え。	東武鉄道へ要望。
給食費の無償化を中学生までにして欲しい。	少子化対策への関心。	子育て支援策の強化検討。
高校生の意見を反映して欲しい(男女共学化・別学について) 参考：参加生徒意見 ・異性が苦手な生徒もいる ・自分で学校を選んでいい ・共学、別学どちらでもいい	今回については、共学化についての意見が主で、意見を聞き、尊重して欲しいという要望。	意見を聞く仕組みづくり。 ※令和7年12月23日東松山市議会では「男女別学の埼玉県立高等学校において生徒の意見を尊重した方針決定を求める意見書」議決

3. グループの総括

全体的な印象として、市議会の役割や市議会議員について認識されておらず、高校生にとって身近には感じられていないと思われる。今回の意見交換では、実体験に基づいた意見や要望を聞くことができた。学校以外での学習環境や駅周辺や下校途中で立ち寄れる店舗、魅力あるお店を求めている意見・要望が多かった。

また、参加された生徒の中には、あらかじめ不参加の生徒にアンケートを取っていたり、議題について回答を考えてきてくれていた。議会と高校生双方に有意義な機会だった。

③ 3 グループの意見・要望・総括

1. 意見（現状認識・疑問等）

内容	考察	議会における提言可能事項
社会科見学で議場を見学した事がある。	市議会や市議会議員に触れる機会や役割を知る機会が少ないと考えられる	議員活動や市議会の仕組みを知る機会を設ける。市民との交流会や意見交換会を開催。 議会IP、SNS、議会だよりでの発信等で広報活動の充実を図る。 市議会モニター制の創設。
普段、議員に会う機会が無い、関わりがない。		
活動内容や仕組みがわからない。		
怖そう。		
市役所を通して田圃の土を入手した事がある。	数少ない市役所との接点が残っている。	関心を持ってもらう機会をつくる。
いつか興味を持たないといけないと思う。	市議会議員について知る機会が少ない。	市議会議員について、知る機会をつくる。
地元の図書館をよく利用する。	図書館の活用への期待	若者の意見を踏まえた、図書館等公共施設の利便性の向上に向けた取組の検討。
停電時に公共施設の自習室を利用したことがある。	停電時に、図書館利用が可能である体制が必要である。	
図書館を利用したことが無い。	若者ニーズの把握が必要	
東松山駅周辺は、居酒屋が多い。	東松山駅周辺には、若者が気軽に集える施設が無い。	
高校生の打ち上げ場所は、東松山に無い。	若者向けの飲食店を誘致する	若者の意見を踏まえた、駅前のまちづくり、賑わい創出に向けた取組の検討。
若葉ウォークのサイゼリアをよく利用する。		
東松山より川越をよく利用する。	東松山駅周辺には、若者が気軽に集える施設が無い。	
クビアカツヤカミキリ駆除の年度内予算が無くなってしまった。	予算等の丁寧な説明が必要。	市の予算などの周知方法の検討。
フリースペース・会議室の利用。	若者向けの学習スペースを求めた意見。	公共施設のフリースペース設置の検討。
若者向けイベントのお知らせが少ない。	東松山のイベントを広く知ってもらう必要がある。	効果的な周知方法の検討。
インスタ SNS 等の発信。	若者を意識した広報活動。	
職業体験・キャリア教育が無い。	若者向け情報をインフォメーションする必要がある。	

2. 要望（具体的提案・改善希望）

内容	考察	議会における提言可能事項
図書館＋公民館のような機能を持った施設があると良い。	若者は自由に快適な環境で学習できる場所を求めている。	要望事項の具体的な考察に対する施設機能の検討。 図書館の開館時間を検証。 ゾーンの空き店舗活用支援策や民間連携施策の検討。
図書館や自習室が通常の利用時間が22時までである市がある。		
お金がかからないフリースペースや会議室があると良い。		
フリースペースや自習室、会議室は、冷暖房・個室があると良い。		

3. グループの総括

松高生と松女生との意見交換においては、東松山市内在住に限らない生徒さんを含めて、東松山市及び市議会議員に対する若者視点から意見や要望を傾聴することができた。全体的には、議員や市議会活動が生徒さんから見て、身近でない印象の意見が多かった。また、東松山市のイメージや行政のソフト・ハード面に対する現状認識や提案要望を、若者視点ならではの意見から改善が図れることにつながる点が多々あった。

まとめに、①議員及び議員活動をより市民一人に身近なものにするために、公開する取組み、②駅前を中心としたまちづくり、③図書館や居場所の機能改善、④東松山市が発信するイベントや地域資源のインフォメーション、等の貴重な意見を議会で議論する場を設け、反映することに取り組むことが望ましい。

意見交換の場を終えて

県立松山女子高校の教諭からのメール

(メールの内容)

参加した生徒たちから感想を聞いたところ、

・自分たちの意見を直接伝えられたこと、そしてそれを真剣に聞いてくれたことに感謝している。

・ひとつの意見から、議論によって新しい答えを見つけようとする活動が楽しかった。

・市議会に興味を持つきっかけになった。自分が住む街の議会の活動についても調べてみたい。といった感想が届きました。

議場に入る経験もとても嬉しかったようで、「すごかったです。」と興奮気味に話していました。

高校生にとっても貴重な経験となりました。改めて、ありがとうございました。

意見交換の場の様子（議場で自己紹介などを行った）



意見交換の場の様子（会議室でグループ毎に意見交換を行った）



3 全体総括

今回の意見交換会は、若い世代の声を聴くだけでなく、東松山市の未来のまちづくりに大きく寄与する貴重な機会となりました。高校生たちは、地域課題の新たな視点を示し、自らも地域変革に関わる存在であるとの自覚を深める意見交換会となりました。

一方で、市議会や議会議員への関心や理解は薄く、議会が若者にとって身近であるとは言い難いという課題も浮き彫りになりました。

意見交換会の中で、議会と若者の継続的な対話、駅前などの魅力ある公共空間の整備、学習環境の充実、地域資源の情報発信の強化が中心課題として挙げられています。

今後は議会活動の「見える化」と「若者参加の仕組みづくり」が重要であり、若者を単なる受益者でなく、地域づくりの主体として位置づけることが、東松山市の持続可能な発展につながると考えられます。

市議会としてはこの意見交換会の成果を踏まえ、①議会活動の透明化の推進、②公共空間と学習環境の改善、③若者の参加機会の創出、④地域情報発信の強化という具体的な対策に取り組むことが求められています。